

第6回各務原市新総合体育館建設基本構想・基本計画策定委員会 議事概要

日 時 令和3年6月1日（火）午前9時00分より

場 所 産業文化センター4階第1学習室

出席委員 鈴木壯委員長、三井栄副委員長、横山浩之委員、三村武俊委員、川上進委員、
小澤次郎委員、田中峰生委員、今尾謙二委員、永田美帆委員、荻谷道宏委員

欠席委員 なし

1. 委嘱状の交付

牧田参与から田中委員に委嘱状が手渡された。

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(1) 各競技で必要となるコート寸法について

(2) 視察について

(3) 策定委員会の日程について

議事録（要旨）

議事（1）各競技で必要となるコート寸法について

資料2 各競技で必要となるコート寸法

事務局説明	
・市スポーツ協会の各種目の代表の方からのご意見に基づき、各競技で必要となるコート寸法について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この件に関して何かご意見やご質問はあるか。
委員	総合体育館だと多くの競技が兼用となるので、例えばバドミントンなど、競技に必要な支柱の穴がネックとなる。カローリングでは、穴をよけるため、現在の総合体育館では10面とるのが精一杯となる。新総合体育館で広くはなるが、バドミントン等を想定すると支柱の穴の問題がある。穴を埋めるものがあるとよい。
事務局	カローリングについては検討していなかったが、例えば、剣道場を別でつくった場合や多目的ホールの場合、支柱の穴が開いていない板間とすることも可能と考えられるので、そこを活用することも含めて詳細を検討したい。
委員	46mあればハンドボールやフットサルの公式競技ができるのであれば、その寸法を確保した方がよい。中学生、高校生、一般社会人によって面数の取り方は違うと思うが、公式競技ができるように対応した方がよいと思う。
委員	各種目協会の希望はかなえてほしいが、基本構想時よりも面積が大きくなり、

	その分お金がかかる。各競技の面数が増えると、ラインが多くなり、角の目印しか示せなくなる可能性もある。バドミントン等の面数が増えるほど支柱の穴も増える。競技面数が多いに越したことはないが、すべての要望に応えるとサイズが大きくなりすぎる。そのため、悩ましく、現時点では考えがまとまっていない。
事務局	行政の立場としては、市民のご希望・ご期待に沿える形で、よりよいものをつくることは当然のことである。各団体の方々からもう少し考えてほしいという部分を考慮していくと、基本構想時に $40\text{m} \times 75\text{m} = 3,000 \text{ m}^2$ を想定していたメインアリーナのサイズが、$46.5 \times 74\text{m} = 3,441 \text{ m}^2$ となった。しかしながら、大切なことは経済的なことと使われる市民の方が喜んでいただけることとのバランスである。より効率的な体育館のあり方について、ブレーキ機能としての経済面を考慮しつつしっかり検討していただきたい。
委員	あえて言うなら夢は大きく、最終的には妥協も踏まえて決定をしていけばよい。当初、スポーツ協会として要望書を募集した際、武道系の方々から武道場は別棟でという要望書を承っていたが、メイン・サブアリーナ及び武道場を完備した新総合体育館を要望した経緯がある。柔道に関して、現在の総合体育館では、畳をはがしたり敷いたりできるようにしてあり、フロアを柔軟に使える一方で、畳がずれやすくなり、実際にケガ人が出ている。過去には無理に公式試合をやっていたこともあるが非常に危険である。しかし、武道場を大きくしてくれと言っているのではなく、畳を埋め込み式にする等、武道に特化しつつも、サブアリーナは他競技もできるといった形になればよいと思う。個人的には武道の方々の要望もくみ取ってあげたい。
委員	6m延ばすとハンドボールが 1 面から 3 面になるのは魅力的なので、大きくした方がよい。
委員	1 面から 3 面になると、学生が同じ会場で大会等を行えるのはいいと思う。規模を大きくすると予算がどれだけ変わるかは見当もつかないが、それとの兼ね合いだと思う。 支柱の穴の金具は立ち上がると危ないので、競技の際はマスキングテープでとめることもできる。 ラインについては、大会時は前日の夜に開場を確保してラインを引くのでよいが、市民が平日使う時にラインがないと、ラインを引くだけで時間がなくなってしまう。普段のラインは白以外にし、公式戦にのみ白のラインを引いて使用し、ほかのラインにはマスキングテープを貼るからよい。ライン等に関しては今後話し合っていけばよい。 予算との兼ね合いもあるが、希望は面数を増やした方がよい。
委員	現在の総合体育館での大会を想定すると、学校関係者としては一会場でやれ

	ることはありがたい。 市民が気軽に使え、普段から活気があることが大事である。広いアリーナで、例えばこの面はバレーボール、この面はバスケットボールというように、普段は市民が気軽に使えるスペースがあり、大きな大会では全体を使うといった柔軟性も必要である。普段使いもでき、大きな大会も行える、どちらにも対応できるような使い方について、今後の他の体育館の視察において確認したい。 器具庫について、多くの競技に対応しようとすると数が増えて大変だろうなと考える。 学校の武道場は剣道と柔道が両方できるように半々でつくられているため、狭くてそれぞれが制限された中で活動している。柔道としては畳が常設されているのが理想だが、畳を敷いても普段どれぐらい使われるのか気になる。武道場について、どういう使い方がよいかは今後もう少し詰めていきたい。
委員	予算のこともあるが、まずは建物の大きさを考えることが先決だと思う。今の総合体育館は小さいという話をよく聞くため、せっかくつくるなら各協会の要望を取り入れて魅力のある体育館にしてほしい。魅力のある体育館ができると、各務原市の未来にもつながると思う。 中学校のPTA会長もやっていたが、剣道と柔道を一緒に行うのは難しいと感じる。練習であれば、剣道は大きいスペースがなくてもできると聞く。例えば、畳は常設にし、剣道の試合はメインアリーナで行うことも考えられる。
副委員長	費用が増えても面数が増えることで、例えば、これぐらいの規模の大会が行える、この時間内で大会が終えられるといったことを示すことが必要である。時間も私たちにとってはお金なので、早く終わることは費用対効果が大きいことになる。 理想的に稼働率を上げている体育館のよい事例や、畳だがこういう使い方もあるという事例を調べ、その資料を示した上で議論をするのがよいと思う。
事務局	このサイズにすることによって大会がどのぐらい効率的に運営できるか等を分かりやすく示した資料を用意させていただく。費用のこともあるが、基本的には、つくる以上は市民に納得していただくことを優先したい。
委員	武道館は別棟にしたい思いもある。柔道と剣道は区別した方がよい。畳は柔道や合気道しか使ってはいけないということはない。例えば、高齢者の体操教室や幼児教室等で使うといった、日中、柔道が使わない時も有効活用できると考えられる。畳は個人的には常設がよい。
事務局	武道については武道館のご希望があったが、市スポーツ協会からは新総合体育館として要望書をいただいていると承知している。新総合体育館の中に武道場を設ける上で、事務局の仮の想定だが、武道場は畳を常設、剣道につい

	てはメインアリーナやサブアリーナのほかに、フローリングの多目的室で行うことも考えられる。
委員長	皆さんにご意見を伺って、事務局案に概ね賛成ということだが、種目によって使い方や特性があってすべてを満足させるのは難しい中、どう調整するか、費用対効果についてエビデンスを示すといった課題は残る。現時点では、事務局が示した案で進めたいと思う。 今回の委員の皆さんのご意見等を頭に入れながら今後の視察を行っていただきたい。

議事（２）視察について

事務局説明	
・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した、今後の先進地視察の方針について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この方針に関して何かご意見はあるか。
委員	委員に行った視察希望調査について、希望はどこが多かったか。
事務局	希望者が一番多かったのは福井県の県営体育館で、各務原市の基本構想における想定規模と同規模である、運営方法を確認したい、各務原市にマッチしているのではないかとといった理由が挙げられた。そのほかに意見が多かったのは、大阪府の大浜体育館で、大小のアリーナを壁で区切ることができる仕組みを確認したいというご意見や運営方法に興味があるというご意見をいただいた。そのほかには、島根県の松江市総合体育館で、Ｂリーグのホームアリーナとなっており、施設規模としては各務原市の想定と同程度だが、稼働率が高いと思われる。また、にぎわいに資すると思われる子ども広場等を確認したいというご意見もあった。それから、福岡県の久留米アリーナで、特徴としては、剣道場・柔道場・弓道場が分かれており、武道場にも少し観覧席がある。アリーナは各務原市の想定と同程度だが、全体の建物規模としては大きい。以上の施設が３名以上の委員が希望された。
事務局説明	
・観覧席の事例について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この件に関して何かご意見やご質問はあるか。
委員	現在の総合体育館の観覧席は、最前列に立たないと見えない部分がある。最前列に立つとその後ろの席から見えなくなるので、最前列か最上段に立って見ており、席は荷物置きになっているため、観覧席として機能していないように思う。体育館の短手に対してコートの手方向をとる場合、両側（コー

	トの長手方向)に観覧席がほしい。 郡上の体育館はコートと同じ高さから観覧席が始まっているが、ベンチがあって選手が座っていると、下の方の段からは何も見えなくなるので、下から4段ぐらいは空いている。
委員	久留米アリーナは半2階みたいな感じで観覧席があるので、こういう形だと非常に臨場感がある。現在の総合体育館の観覧席は見にくい。臨場感を出そうと思うと、少し低めの形にしてみようと盛り上がると思う。観覧席の数だけでなく形も考えていきたい。
事務局	久留米アリーナのような観覧席の形だと一体感をもって「みる人」、「ささえ人」も「する人」とともにスポーツを楽しむことができると思う。1階部分から観覧席を始めると比較的多くの観覧席を確保できるが、その際、器具庫のある程度高さが必要となる扉をどう配置するか等の課題もある。策定委員会においても器具庫関係について広く考えていただきたい。

議事（3）策定委員会の日程について

資料3 策定委員会日程（案）

事務局説明	
・令和3年度の策定委員会の日程（案）について説明した。	
主な意見及び質疑応答	
委員長	この案に関して何かご意見はあるか。
委員	（異議なし）

4. その他

（事務局）次回の委員会については、7月14日の水曜日に、本日と同じ9時から産業文化センター6階第3会議室で開催する。